

### 5.3 地形・地質

#### 5.3.1 工事の施行中

##### (1) 調査事項

調査事項は、表5.3-1に示すとおりとします。

表5.3-1 地形・地質における調査事項

区 分	調査事項
ア 予測した事項	斜面の安定性の変化の程度
イ 予測条件の状況	—
ウ 環境保全のための措置の実施状況	【予測に反映した措置】 ・工事の施行にあたっては、急傾斜地崩壊危険箇所の安定性に考慮し、目視等により急斜面の状態を確認しながら工事を実施します。

##### (2) 調査地域

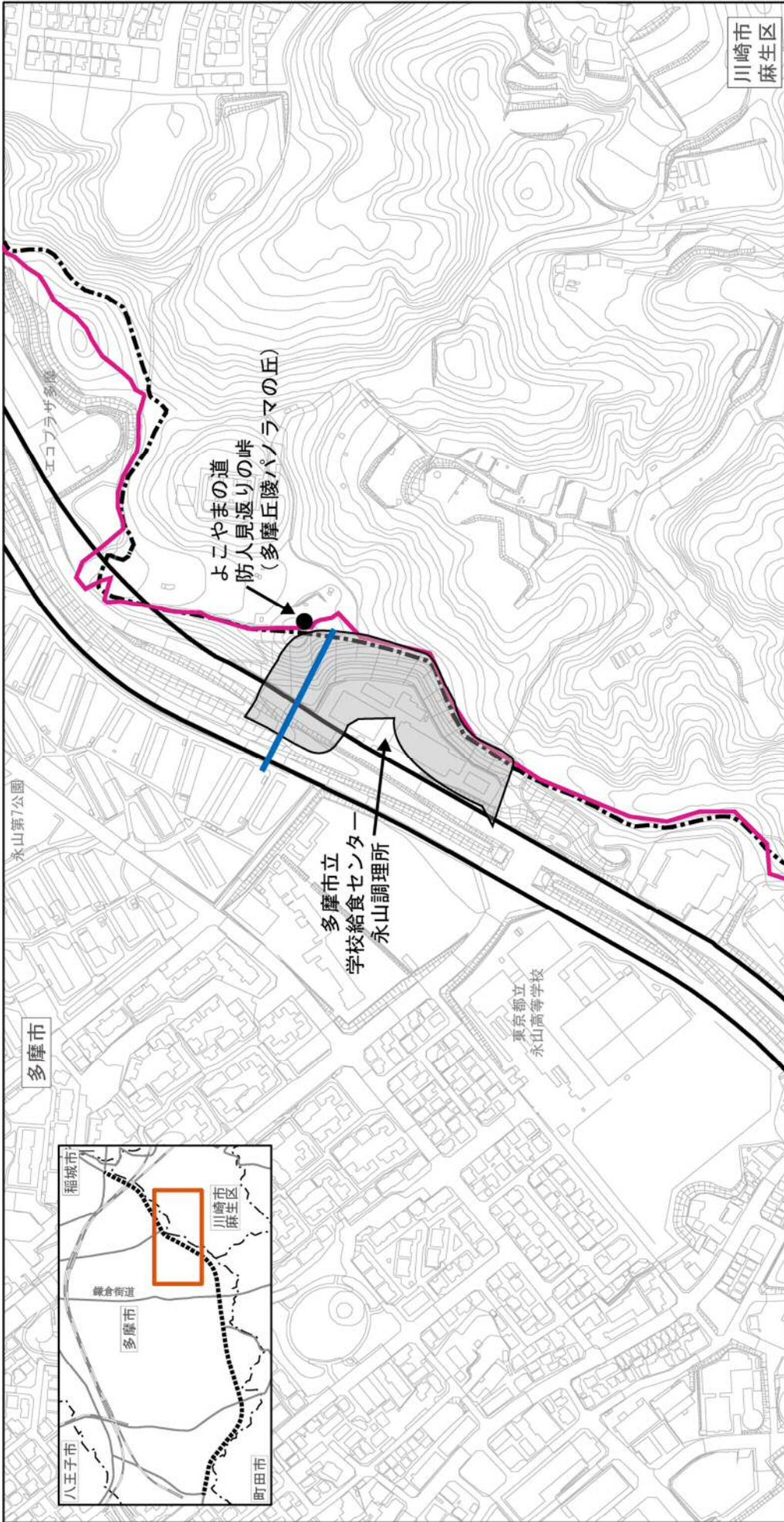
調査地域は、計画道路が通過する諏訪・永山区間の急傾斜地崩壊危険箇所とします。

##### (3) 調査手法

調査手法は、表 5.3-2 に示すとおりとします。

表5.3-2 地形・地質における調査手法

	区 分	調査手法
調査時点 及び 調査期間	ア 予測した事項	急傾斜地崩壊危険箇所の工事の施行期間中、1回/月とします。
	イ 予測条件の状況	—
	ウ 環境保全のための措置の実施状況	工事の施行中の随時とします。
調査地点	ア 予測した事項	図5.3-1に示す代表的な1断面とします。
	イ 予測条件の状況	—
	ウ 環境保全のための措置の実施状況	計画道路が通過する諏訪・永山区間の急傾斜地崩壊危険箇所及びその周辺とします。
調査方法	ア 予測した事項	現地調査（写真撮影等）及び関連資料の整理による方法とします。
	イ 予測条件の状況	—
	ウ 環境保全のための措置の実施状況	現地確認（写真撮影等）及び関連資料の整理による方法とします。



- 凡例
- 計画道路(敷地)
  - - - 都県界・市界
  - 急傾斜地崩壊危険箇所
  - 調査断面位置
  - よこやまの道

図5.3-1 急傾斜地崩壊危険箇所

### 5.3.2 工事の完了後

#### (1) 調査事項

調査事項は、表5.3-3に示すとおりとします。

表5.3-3 地形・地質における調査事項

区 分	調査事項
ア 予測した事項	斜面の安定性の変化の程度
イ 予測条件の状況	—
ウ 環境保全のための措置の実施状況	【予測に反映した措置】 ・工事の完了後、一定の期間、目視等により急斜面崩壊危険箇所の状況を確認します。

#### (2) 調査地域

調査地域は、計画道路が通過する諏訪・永山区間の急傾斜地崩壊危険箇所とします。

#### (3) 調査手法

調査手法は、表 5.3-4 に示すとおりとします。

表5.3-4 地形・地質における調査手法

区 分	調査手法	
調査時点 及び 調査期間	ア 予測した事項	急傾斜地崩壊危険箇所の工事の完了後1年間、3ヶ月に1回（1年間で4回）とします。
	イ 予測条件の状況	—
	ウ 環境保全のための措置の実施状況	「ア 予測した事項」と同一時点とします。
調査地点	ア 予測した事項	図5.3-1に示す代表的な1断面とします。
	イ 予測条件の状況	—
	ウ 環境保全のための措置の実施状況	計画道路が通過する諏訪・永山区間の急傾斜地崩壊危険箇所及びその周辺とします。
調査方法	ア 予測した事項	現地調査（写真撮影等）及び関連資料の整理による方法とします。
	イ 予測条件の状況	—
	ウ 環境保全のための措置の実施状況	現地確認（写真撮影等）及び関連資料の整理による方法とします。